

# 使い古したバッグや靴も、 修理すれば新品のようについに。

長年、愛用した結果、傷んでしまったバッグや靴、処分して新しいモノに買い替えなくても、修理に出せば、まだまだ充分に活躍します。

撮影・菅原紀之

靴とバッグの本格メンテナンススピカ

できるだけ長く使えるように、修理の材料にもこだわっている。



顔料を塗る前に、クリーナーで表面の汚れをしっかりと落とす。

部分的に色を補うだけでも、外観が見違える。

修理代  
**15,000円**

頻繁に使っていたら、縁取り部分が擦れてきたバッグ。色剥げした部分に元の色に近い革用の顔料を塗って、さらに乾拭きをするともツヤもよみがえり、見違えるほどきれいに。



色の鮮やかさが一段と増したパンプス。

修理代  
**10,900円**

全体的に擦れや汚れが目立ってきたパンプスは、部分的な補色ではなく、全塗装で対応。クリーナーでまず汚れを拭き取ってから、噴射機で黄色の革用顔料を吹きつけた。



「靴を磨くときは、つま先とかかとを光らせると足元がエレガントに見えますよ」と、手嶋さん。



くつとバッグのほんかくメンテナンス スピカ ● 東京都港区元麻布3-10-8 ☎03-6413-6656 ● 10時～19時、定休日なし。東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番」駅7番出口から徒歩約5分。店頭への持ちこみのほか、全国から郵送で注文を受け付けている。東京都港区なら3点以上からデリバリーサービスも。預かり期間は4日～。料金は、ヒール先端のゴム交換1,200円～、靴底補強2,800円～。  
<http://www.spica-inc.jp/>

修理を担当するのは全員、靴を作る職人たち。ヒール先端のゴム交換をはじめ、靴底の補強、傷の修復、中敷きの交換、ヒールや

一度ご相談ください」  
丁寧な物腰と誠実な仕事ぶりで、リピートするお客さんが着実に増えている。

麻布十番の路地裏にある、洒落た構えの「スピカ」。元銀行員の手嶋慎太郎さんが「修理やメンテナンス」の分野に魅力を感じてイチから技術を学び、開業させた。「場所柄、外国人のお客さまも多いのですが、10年以上、履かれた靴も繰り返し修理に出し、大切にされているのを見て感心することがよくあります。汚れたらクリーナーで拭くといった日常の手入れと、傷みに応じた修理で、靴は20年は持ちます」

ファスナーの取り換え、サイズ調整などに応じる。  
修理だけでなく、磨きとクリーニング全般も受け付けている。リムーバーによる汚れ落とし、シミの洗浄、色褪せた部分に革用の顔料を塗る色の修復なども行う。  
「できるだけ長く快適に使っていただくためにも、ゴムや革、顔料など、使う材料にもこだわっています。靴だけでなく、バッグや財布も承っていますので、「もう直らない……」と諦めてしまう前に